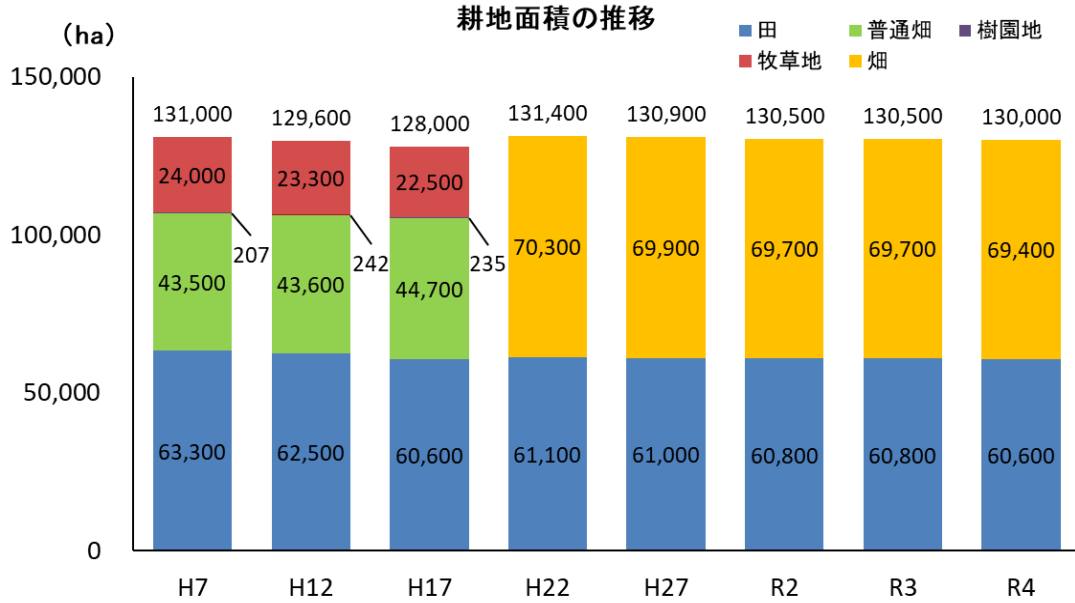


2 農 業

① 耕地面積

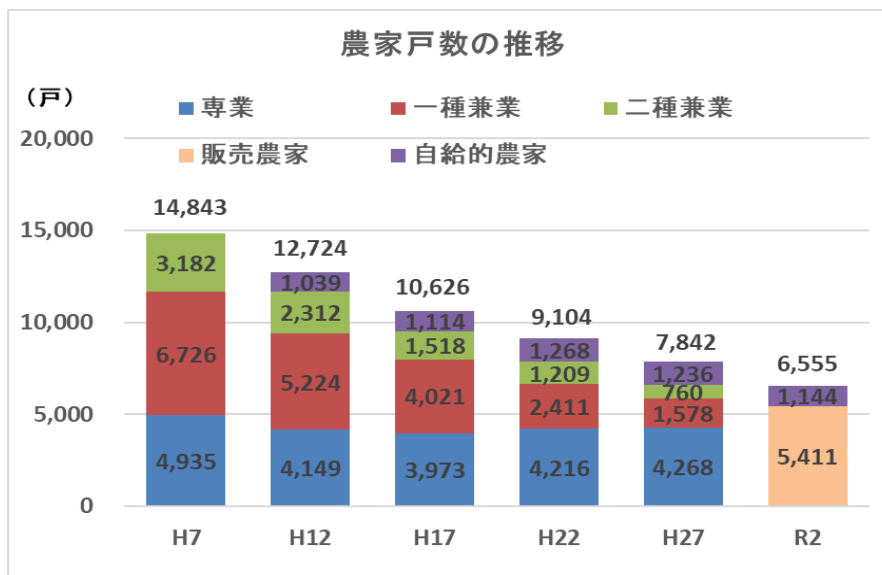
管内の令和4年の耕地面積は130,000haで、全道の11%を占め、十勝、オホーツクに次いで3番目となっています。このうち田は、60,600haで耕地面積の47%を占めています。



(農林水産省「耕地面積調査」(～H22)) (北海道農林水産統計年報(H27～R4))
 (H22年度以降は、普通畑、樹園地、牧草地の区分が畑に統合されている。また22年度以降は、幌加内町を含む。)
 (端数処理の関係で、合計と内訳の計が一致しない場合があります。)

② 農家戸数

令和2年における総農家戸数は6,555戸で、全道の17%を占め、空知に次いで2番目となっています。販売農家戸数は5,411戸で、総農家戸数に占める割合は83%となっています。



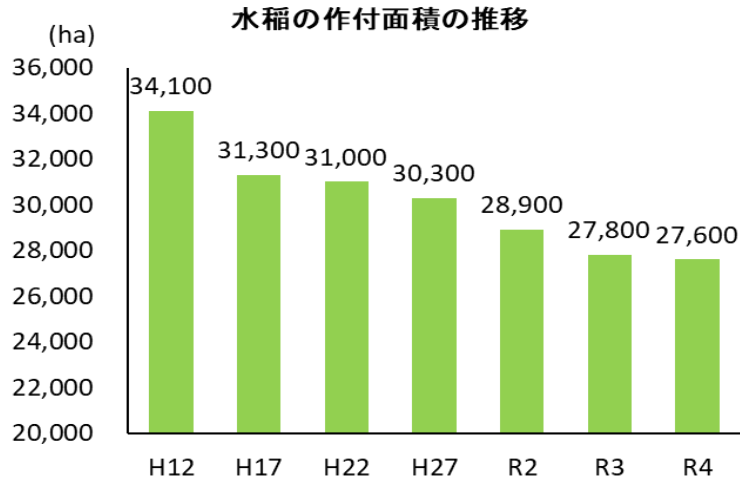
(農林水産省「農業構造実態調査」(～H17))
 (北海道「世界農林業センサス」(H22～)(22年度以降は幌加内町分を含む。))
 (R2から専業の別は廃止され、販売農家とされた。)

③ 水 稲

令和4年産の水稻の作付面積は27,600haで全道の29%を占め、空知に次いで全道2位となっています。

もち米は、管内で「もち米生産団地」が形成されており、令和4年産で全道の66%を占める4,873haで「はくちょうもち」や「風の子もち」などが作付けされ、全道1位となっています。

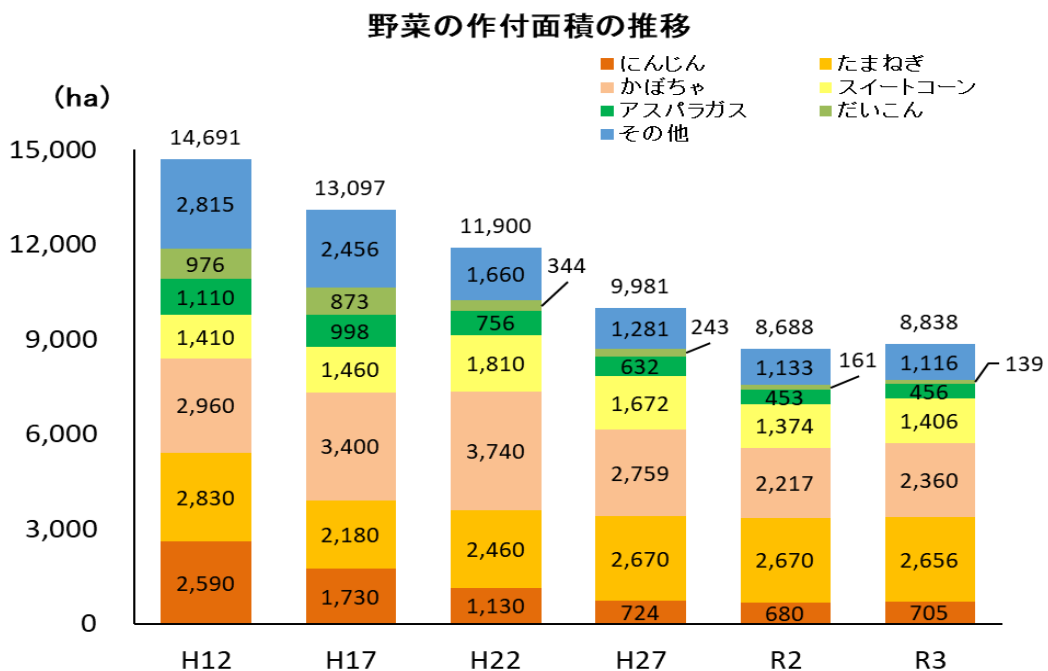
うるち米は、「ななつぼし」が10,721ha作付けられ、次いで、北海道を代表する極良食味米「ゆめぴりか」が6,871ha作付けられています。これは、令和4年産の全道のゆめぴりか作付面積の28%を占めています。



(農林水産省「作物統計」(22年度以降は幌加内町分を含む。))
(北海道農政部調べ(22年度以降は幌加内町分を含む。))

④ 野 菜

令和3年産の野菜作付面積は8,838haと全道の約20%を占め、十勝、オホーツクに次いで全道3位となっています。管内では多品目が生産されていますが、中でもアスパラガス、かぼちゃなどが作付面積で全道1位となっています。



(農林水産省「作物統計」(～H17))
(北海道「主要野菜作付実態調査」(H22～)(22年度以降は幌加内町分を含む。))

⑤ 畑作物

■ 麦類

令和4年産の小麦の作付面積は16,200haで全道の12%を占め、十勝、オホーツク、空知に次いで全道4位となっています。管内では美瑛町、富良野市、士別市、上富良野町で多く作付けされています。

ビール原料となる二条大麦の作付面積は376haで、オホーツクに次いで全道2位となっています。

■ 馬鈴しょ

令和4年産の馬鈴しょの作付面積は2,380haで全道の5%を占め、十勝、オホーツク、後志に次いで全道4位となっています。ポテトチップスや冷凍食品など加工食品用として、美瑛町、上富良野町で多く作付けされています。

■ 大豆

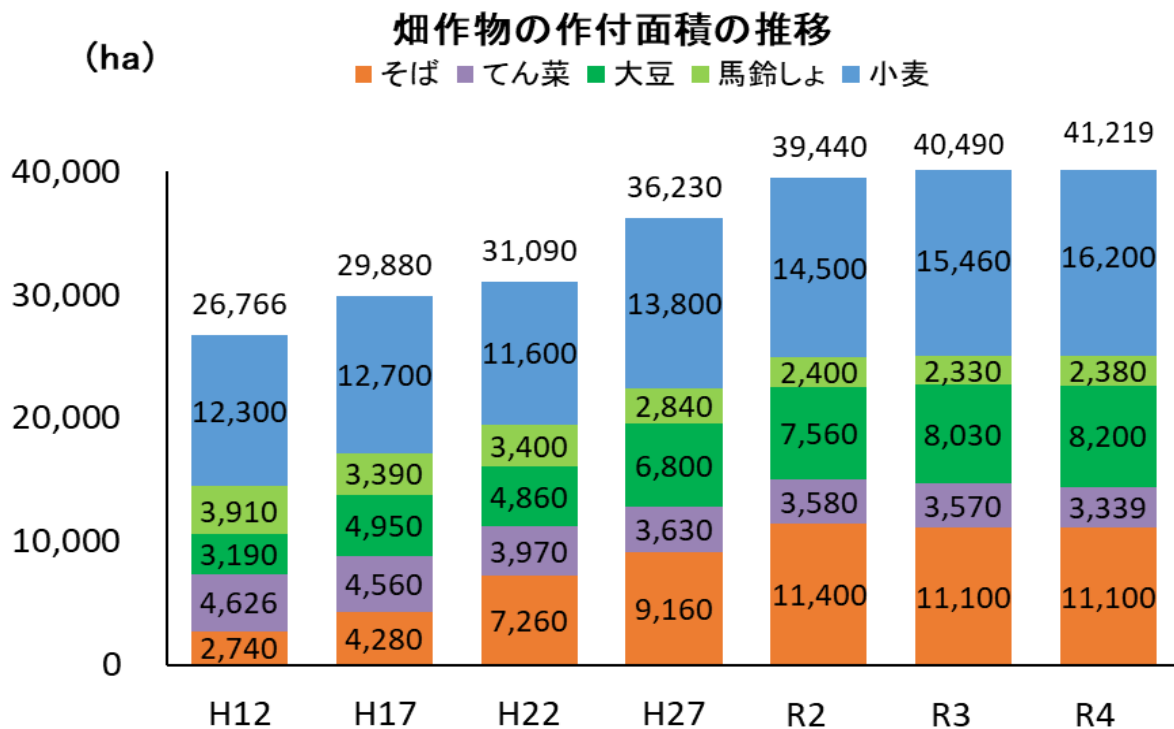
令和4年産の大豆の作付面積は8,200haで全道の19%を占め、十勝、空知に次いで全道3位となっています。士別市、剣淵町で多く作付けされています。

■ てん菜

令和4年産のてん菜の作付面積は3,339haで全道の6%を占め、十勝、オホーツクに次いで全道3位となっています。美瑛町、士別市、富良野市で多く作付けされています。

■ そば

令和4年産のそばの作付面積は11,100haで全道の46%を占め、全道1位となっています。全国一の生産地である幌加内町をはじめ、旭川市江丹別や音威子府村で多く作付けされています。

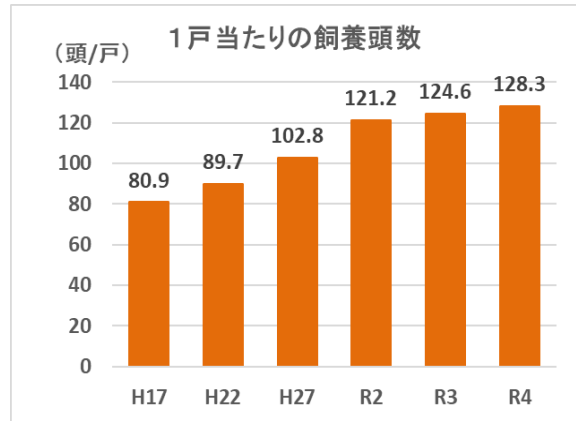
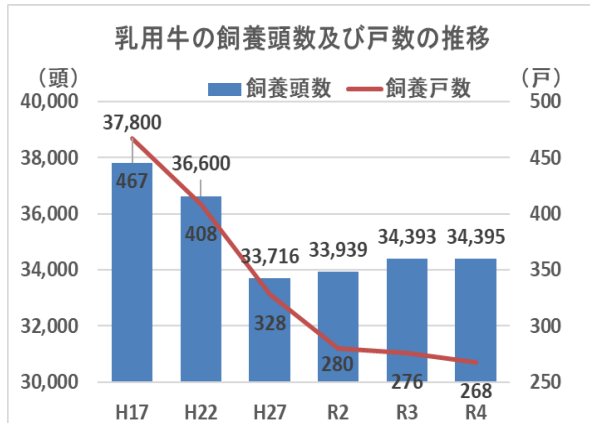


(農林水産省「作物統計」(～H17))
(北海道農政部調べ(H22～)(22年度以降は幌加内町分を含む。))

⑥ 酪農・畜産

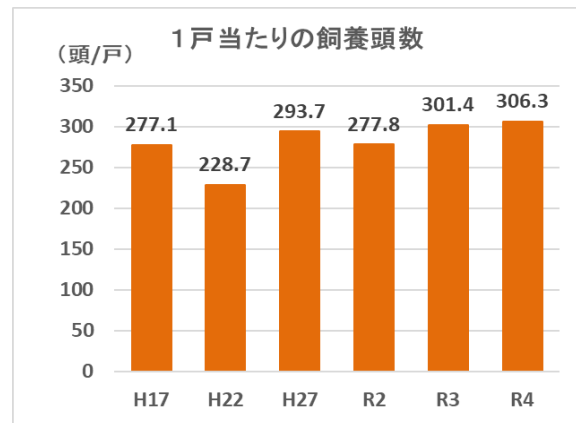
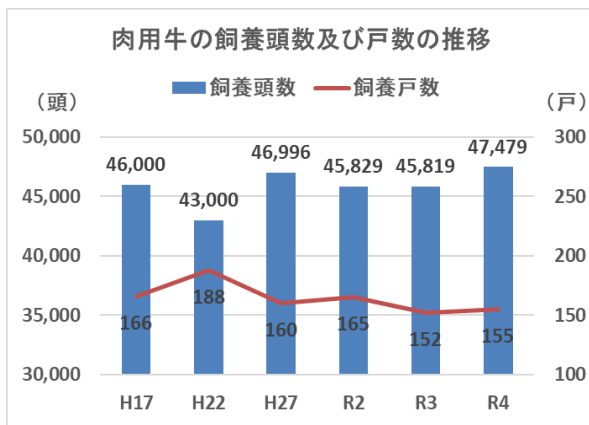
■ 酪農

乳用牛の飼養頭数が減少傾向から横ばいとなる中、飼養戸数は高齢化等による経営離脱により減少しており、一経営体あたりの飼養頭数は増加傾向にあります。令和4年度の生乳出荷量は、ホクレン旭川支所分の受託乳量ベースで173,755tとなっています。



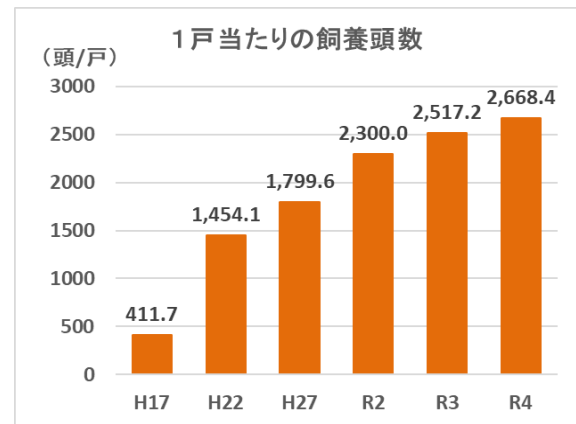
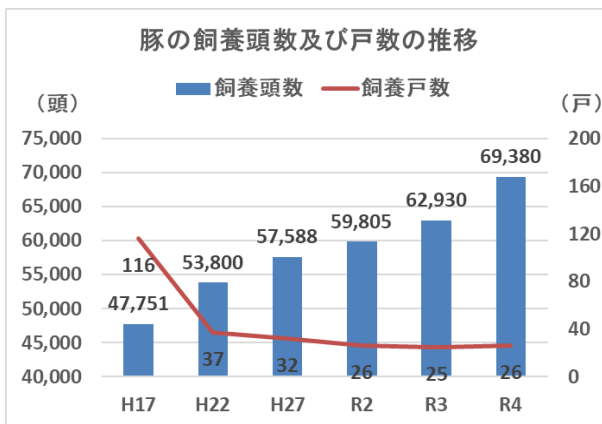
■ 肉用牛

肉用牛の飼養頭数、飼養戸数、一経営体あたりの飼養頭数とも近年横ばい傾向にあります。



■ 豚

豚の飼養戸数は近年減少傾向ですが、一経営体あたりの飼養頭数は増加傾向にあります。



(農林水産省「畜産統計調査」(～H17))
(北海道「肉畜等に関する調査」(H22年以降)(22年度以降は幌加内町分を含む。))